

校長室だより



校長室チャレンジで思うこと

今月の詩を覚えて、子どもたちは詩の暗唱に校長室に来る様子を見て、子どもたちの成長を実感しています。最初は、緊張して一言も言えなかった子、自信満々でも言えなかった子、落ち着かずずっと動いていた子等、お子さんにより様々です。大きくなったなど思うことと、校長室での振る舞いをみても成長したと思えます。間違えたことで泣きそうになっていた子どもたちも今は、間違いを指摘されても次練習して、頑張ればいいことを理解しています。また、友だちを励ますことや、学年が下の児童に対しての気づかひも見られます。失敗からたくさんを学んでいます。

また、暗唱に取り組むことは、自分と向き合うことにもなっています。難しい課題にすることがありますが、負けずに挑戦してほしいです。

校長室チャレンジ、今月の高学年は「大学」です。

こころこ

心 焉 に在らざれば、

み み
視れども見えず、

き き
聴けども聞こえず、

く そ あじ し
食らえども其の味を知らず。

子どもたちには、自分に言い聞かせるように、ゆっくり力強く読んでもらいたいです。

意味：うわのそらでは、目で見ていても正しく見えず、耳で聞いても正しく聞こえず、食べていても本当の味には気づかない。

おねがい・・・（子どもたちの安全確保のため）

学校にお子様の送迎でお車に来られることで、車のスピードが気になっております。進入路に入られましたら、徐行運転をお願いいたします。また、児童・生徒の安全確保のため加賀田中学校のグランド側に駐車してから、お子さんを降ろされますようよろしくをお願いいたします。

学校周りの桜の木について

学校まわりの桜の木に、首赤カミキリムシがついている痕跡がありました。全国的に広がり、桜の木を枯らしています。放置しては危ないので、伐採になることが多いです。市にお願いして、消毒していただくことになりました。ただ、消毒の効果も2年ほどということで、今後どうなるか心配ではあります。また、一説にはソメイヨシノは、クローンなので寿命が短く、60年と言われています。50年を過ぎると樹勢が衰えてくるようで、ぼちぼち学校の桜の木々もそのころを迎えるころだと思えます。点検をしておりますが、来校の際お気づきのことがありましたらご連絡いただけたら幸いです。



総合的な学習について

これからの学びは、「主体的で対話的で深い学び」、「教科横断的な学び」に変化させていかなければなりません。本校は、今年度、森教育振興会からの助成金を受け、具体的には、学校林を活用した総合的な学習に取り組んでまいります。

（森教育振興会：河内長野市のモリ工業の公益財団法人で、学校に助成等していただいています。）

これまでも森林ボランティアのトモロスさんをお願いをし、整備等してきましたが、この自然豊かな石仏小学校の資源を活かし、子どもたちの学習につなげていきたいです。